

平成29年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年3月15日

上場会社名 株式会社ジェネレーションパス 上場取引所 東
 コード番号 3195 URL http://www.genepa.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岡本 洋明
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)鈴木 智也 (TEL)03(3343)3544
 四半期報告書提出予定日 平成29年3月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年10月期第1四半期の連結業績(平成28年11月1日～平成29年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年10月期第1四半期	2,027	33.5	31	1.2	48	47.0	32	52.1
28年10月期第1四半期	1,517	30.4	31	241.3	32	288.2	21	291.0

(注) 包括利益 29年10月期第1四半期 32百万円(49.8%) 28年10月期第1四半期 21百万円(291.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年10月期第1四半期	3.98	3.97
28年10月期第1四半期	2.62	2.61

(注) 当社は、平成28年5月1日付けで普通株式1株につき普通株式4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年10月期第1四半期	2,333	1,582	67.8
28年10月期	2,182	1,548	71.0

(参考) 自己資本 29年10月期第1四半期 1,582百万円 28年10月期 1,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年10月期	—	—	—	—	—
29年10月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年10月期の連結業績予想(平成28年11月1日～平成29年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500	30.7	130	56.6	130	94.0	88	95.6	10.67

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 第2四半期(累計)の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)ー、除外 一社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年10月期1Q	8,246,840株	28年10月期	8,246,040株
29年10月期1Q	400株	28年10月期	400株
29年10月期1Q	8,246,248株	28年10月期1Q	8,229,828株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、平成28年5月1日付けで株式1株につき株式4株の割合で株式分割を行いました。期中平均株式数につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績・財政状態に関する分析(1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境・所得環境の改善が続き、個人消費に持ち直しの動きが見られるなど引き続き緩やかな回復基調で推移しております。一方、米国の新政権の政策運営次第では、大幅な為替の変動等による企業業績の不確実性が発生し、わが国景気にも影響を及ぼすリスクがある等、国内景気の先行きは不透明となっております。

小売市場におきましては、個人消費者の節約志向、及び、選別消費の傾向がますます強まる傾向にある一方で、当社グループが属するEC市場におきましては、宅配料金の値上げ等の不安もある中、国内、海外共に個人消費者の購買状況は引き続き上昇傾向にあります。

このような状況の中、当社グループは、主力事業であります「ECマーケティング事業」につきまして、継続的なビッグデータの収集とその分析を進め、マーケットニーズに沿った事業展開を推し進めてまいりました。EC店舗につきましては、当第1四半期連結累計期間におきまして、1店舗純増し、平成29年1月31日時点における出店店舗数は合計で50店舗となりました。国内EC事業につきましては、当社独自の戦略であるEC Platform Optimization（以下「EPO」といいます。）を推進・強化し、販売サイトのリニューアルや各種集客と売上拡大施策を展開し、継続的な増収傾向を維持しております。また、当社が独自に開発したオペレーションシステム（GPMS：Generation Pass Management System）の機能改善や追加機能の実装、EPOを推進するためのビッグデータの収集及びその分析を行うシステム（MIS：Marketing Information System）の改善・実装につきましても引き続き実施し、売上拡大及び利益改善のための基盤整備を推し進めてまいりました。さらに、提携先との共同ブランド開発として、家電領域での新ブランド「Simplus」シリーズを投入する等、さらなる売上拡大に向けての施策を講じております。

海外事業戦略につきましては、成長を続けるクロスボーダー電子商取引（国を越えた電子商取引。以下「越境EC」といいます。）への取り組みとして、既存店舗である中国の上海市政府が運営する保税型越境ECサイト「KJT.com」、及び、北京移動納維信息科技有限公司（英語：MOBILE NAVI BEIJING CO., LTD）が運営する直買型越境EC用サイト「洋桃派」への商品提供の拡大、更に中国大手である淘宝（英語：Taobao）へのテスト参入を行うなどの基盤の整備に努めてまいりました。商品企画関連事業につきましては、事業立ち上げから2期目となり、売上拡大を図るべく既存の取引量を増加させ、品質管理手法の改善への投資を加速させてまいりました。当第1四半期連結累計期間においては、家具・寝具の売上が好調となり、売上高は順調に推移いたしました。

また、昨年度末に比較して円高基調が一服し、円安に転じていることにより、保有外貨建資産等におきまして為替差益15百万円が発生しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,027百万円（前年同期比33.5%増）、営業利益は31百万円（同1.2%増）、経常利益は48百万円（同47.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は32百万円（同52.1%増）となりました。

セグメントの業績については、以下のとおりであります。

①ECマーケティング事業

国内ECでは、取扱い商材の増加及び新規出店を行うとともに、家電領域での新ブランド「Simplus」シリーズの販売開始等の施策により、継続的な売上高の増大施策を実行してまいりました。また、海外ECでは、提供商品数の拡大、中国大手である淘宝（英語：Taobao）へのテスト参入、及びオペレーションの改善のためのシステム開発を推進し、基盤整備を進めております。

以上の結果、売上高は1,711百万円（前年同期比26.8%増）、セグメント利益は49百万円（同20.7%減）となりました。

②商品企画関連事業

既存の家具・雑貨・寝具の受注が好調に推移したことから、当第1四半期連結累計期間におきましては売上高が順調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は311百万円（前年同期比89.0%増）、セグメント利益は38百万円（同237.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、2,333百万円となり、前連結会計年度末に比べ151百万円の増加となりました。

流動資産は2,286百万円となり、前連結会計年度末に比べ150百万円の増加となりました。主な要因といたしましては、現金及び預金が145百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、47百万円となりました。

(負債の状況)

負債は、751百万円となり、前連結会計年度末に比べ117百万円の増加となりました。

流動負債は、740百万円となり、前連結会計年度末に比べ118百万円の増加となりました。主な要因といたしましては、支払手形及び買掛金が45百万円、未払金が44百万円、未払法人税等が2百万円増加したことによるものであります。

(純資産の状況)

純資産は、1,582百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円の増加となりました。主な要因といたしましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が32百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月期の通期の業績見通しについては、当第1四半期連結累計期間の実績が見通しに沿って推移しているため、平成28年12月15日に公表した業績見通しから変更はありません。

なお、業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	734,692	880,337
売掛金	669,964	669,995
商品	655,805	651,874
繰延税金資産	13,209	13,917
その他	66,303	73,706
貸倒引当金	△3,990	△3,521
流動資産合計	2,135,985	2,286,310
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,438	7,438
工具、器具及び備品	5,297	5,297
リース資産	11,328	11,328
減価償却累計額	△7,250	△8,310
有形固定資産合計	16,814	15,753
無形固定資産		
ソフトウェア	15,131	16,517
その他	23	23
無形固定資産合計	15,155	16,541
投資その他の資産		
投資有価証券	10,486	11,381
繰延税金資産	1,126	822
その他	3,072	3,089
投資その他の資産合計	14,684	15,293
固定資産合計	46,655	47,588
資産合計	2,182,640	2,333,898
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	368,092	413,720
リース債務	2,540	2,575
未払金	212,921	257,322
未払法人税等	17,661	19,996
賞与引当金	—	2,351
その他	20,734	44,343
流動負債合計	621,949	740,310
固定負債		
リース債務	7,920	7,252
資産除去債務	4,149	4,154
固定負債合計	12,069	11,406
負債合計	634,019	751,717

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	624,387	624,457
資本剰余金	613,387	613,457
利益剰余金	312,103	344,927
自己株式	△169	△169
株主資本合計	1,549,707	1,582,671
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,086	△490
その他の包括利益累計額合計	△1,086	△490
純資産合計	1,548,620	1,582,181
負債純資産合計	2,182,640	2,333,898

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年1月31日)
売上高	1,517,787	2,027,680
売上原価	1,086,390	1,452,695
売上総利益	431,397	574,985
販売費及び一般管理費	400,163	543,378
営業利益	31,234	31,607
営業外収益		
受取利息	1	0
為替差益	788	15,823
助成金収入	98	—
受取手数料	329	158
受取保険金	—	761
その他	411	98
営業外収益合計	1,629	16,841
営業外費用		
支払利息	—	134
営業外費用合計	—	134
経常利益	32,863	48,314
税金等調整前四半期純利益	32,863	48,314
法人税、住民税及び事業税	7,917	16,193
法人税等調整額	3,364	△702
法人税等合計	11,282	15,490
四半期純利益	21,581	32,824
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,581	32,824

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年1月31日)
四半期純利益	21,581	32,824
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△490
その他の包括利益合計	—	△490
四半期包括利益	21,581	32,333
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,581	32,333
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年11月1日 至 平成28年1月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年11月1日 至 平成29年1月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年11月1日 至 平成28年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ECマーケ ティング 事業	商品企画関 連事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	1,349,789	164,959	1,514,748	3,039	1,517,787	—	1,517,787
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,349,789	164,959	1,514,748	3,039	1,517,787	—	1,517,787
セグメント利益	61,838	11,366	73,205	1,038	74,244	△43,010	31,234

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの受託開発、システム開発事業及び思い出事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△43,010千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△43,010千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年11月1日 至 平成29年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ECマーケ ティング 事業	商品企画関 連事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	1,711,499	311,853	2,023,352	4,328	2,027,680	—	2,027,680
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,711,499	311,853	2,023,352	4,328	2,027,680	—	2,027,680
セグメント利益	49,035	38,394	87,429	1,900	89,330	△57,723	31,607

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの受託開発、システム開発事業及び思い出事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△57,723千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△57,723千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。